



# 11. 持続可能な取組体制の構築

## 東京都江東区立八名川小学校

### E S Dを継続的に進める工夫

#### 1. 組織等の工夫

校内研究の組織をそのままユネスコスクール・E S Dの推進母体としています。校長・副校長・研究主任の他、各学年と専科から1名ずつの推進委員で構成されます。

校内研究会は、研修会やワークショップの他、授業研究会を推進します。生活科・総合的な学習の時間での授業実践が中心になります。

この他、1月末に特別活動・生活・総合で「八名川まつり」を設定し、全学年の児童が、学級・学年毎にテーマを決めて、E S Dに関する取り組みを発表・参加・参観し合っています。

この時期の八名川まつりに向けて、各学年で児童の発表ができるように、教師側でも計画的な取り組みが進みます。



校内研究（E S D）用のフォルダ

#### 2. 学年毎に研究フォルダを作成

校内のパソコンに共有フォルダを作り、そこに、年度毎に各学年の実践資料を全て入れます。

研究授業をした単元の指導案、単元展開表、本時案、授業用資料、保護者等への依頼の手紙、ワークシート、児童の作業例、学習過程にそった主な写真、ビデオ、校内発表用のプレゼン資料等を全て入れて、E S D実践の散逸をふせぎます。これが実践の継続・深化につながります。

#### 3. そのほかの工夫

全校保護者会や学校説明会でもユネスコ・E S Dの理念を伝え、協力を得るようにします。また、教育課程編成の際、E S Dの視点からの見直しを図るようにしています。年度末に学年毎の実践を5分間のプレゼンで紹介し合い、単元全体の実践の共有化を図ります。年度末には、本年度の実践に基づいてNew! E S Dカレンダーの見直しをして、学年フォルダとともに次年度の担任に引き継ぐようにしています。全学年にNew! E S Dカレンダーができていると、次の学年も、それに基づいて実践を考えられるので何よりも重要なものだと思います。

総合的な学習の時間

第4学年 年間指導計画

第4学年 ESDカレンダー (教科横断的学習構造図)											江東区立八名川小学校		
教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	よりよい学級会をしよう	読書生活について考えよう	新聞を作ろう		手と心で読心		アップとルーズで伝える	仕事リーフレットを作ろう					
算数				折れ線グラフ									
理科													
社会			水はどこから				ごみのしよりと利用	山ろくに広がる用水					
総合		私たちの水と暮らし			ハリアフリーを考えよう		ごみをもっと減らそう大作戦				1/2成人式		
特活											八名川まつり		
道徳	おちゃんルール				心の信号機								
音楽													
図工													
体育													
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境の教育</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">多文化の理解</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人権・命の教育</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国際的な協働</span> </div>													

総合的な学習の時間 第4学年指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>単元名「旅する地球の水」(16時間)</p> <p>【ねらい】 水道局やJICAの方のお話を通して、水問題について考え、水を大切にするために自分たちができることを考え、実践していく。</p> <p>【課題の把握】 ○地球上にある水の量や身の回りでのどのように水が使われているか知る。 ○水道局や企業で水を大切にするためにどのような取り組みが行われているか知る。</p> <p>【問題追究】 ○水を大切にするために自分たちができることを調べる。</p> <p>【資料・機材】 ○調べたことをもとに、グループで具体策を考え、シンポジウムに向けて準備を行う。</p> <p>【発展】 ○水を大切にするために自分たちに何ができるかシンポジウム形式で話し合い、校内に提案する。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○JICA (世界の水事情について) ○東京都水道局 ○サントリー「水育」出張授業</p>			<p>単元名「ごみをもっと減らそう大作戦」(16時間)</p> <p>【ねらい】 清掃局の方のお話や埋立地の見学などを通して、ごみ問題について考え、ごみを減量するために自分たちができることを考え、実践していく。</p> <p>【課題の把握】 ○世界や日本のごみ事情について知る。 ○江東区の人口増加とごみ減少のグラフを見て考える。</p> <p>【問題追究】 ○ごみを減量するために自分たちができることを調べる。</p> <p>【資料・機材】 ○グループごとに自分たちが取り組むごみ減量作戦を発表しあう。</p> <p>【発展】 ○ごみ減量化アイデアへ応募したり、ごみダイエット家計画に取り組んだりする。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○えこっくる江東への見学 ○清掃事務所のふれあい体験(ごみすけ) ○区清掃リサイクル課(ごみ減量アイデア公募・ごみダイエット家計画の配布)</p>			<p>単元名「ハリアフリーを考えよう」(16時間)</p> <p>【ねらい】 体の不自由な方との交流会を通して、ハリアフリーやユニバーサルデザインについて考え、誰もが住みやすい街のあり方について考えていく。</p> <p>【課題の把握】 ○体の不自由な方との交流を通して、誰もが自分と同じ大切な存在であることを感じる。 ○アイマスクや点字の体験などを通して、体の不自由な方の大変さを知る。</p> <p>【問題追究】 ○誰もが住みやすい街を作るために、自分たちができることを調べる。</p> <p>【資料・機材】 ○調べたことをもとに誰もが住みやすい街のあり方について、グループで話し合い、ポスターセッションに向けて準備を行う。</p> <p>【発展】 ○ハリアフリーやユニバーサルデザインについて調べたことをポスターセッション形式で発表を行う。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○社会福祉協議会 ○NPO法人サイクルリング</p>			<p>単元名「1/2成人式」(10時間)</p> <p>【ねらい】 今までの自分の成長の様子を調べたり、将来の夢を考えたりする活動を通して、保護者への感謝の気持ちや前向きに生きていく意欲を高めていく。</p> <p>【課題の把握】 ○子どもの頃から好きだったものを仕事にしている恐竜博士富田先生の話聞き、自分の子どもの頃の様子や将来の夢について考える。</p> <p>【問題追究】 ○保護者や保育園・幼稚園の先生などにインタビューを行い、自分の成長の様子を調べる。 ○将来なりたい夢について、インターネットや図書資料などを使って調べる。</p> <p>【資料・機材】 ○調べたことをもとに、自分史の本を作ったり、1/2成人式に向けて、発表の準備を行ったりする。</p> <p>【発展】 ○保護者を招き、1/2成人式を行い、自分の将来の夢について発表する。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○恐竜博士富田先生 ○保護者</p>		
<p>【俳句づくり】 朝の俳句づくり(週1日) + 句会(月1日)</p>											